



世界に希望を生み出そう

2023~2024

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 柳澤 講次 幹事 藤掛 誠一郎
 広報・雑誌・会報委員長 野崎 修

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう R.I. 会長 ゴードン・R・マッキナリー



第 2691 回例会 No.21
 2024年(令和6年)1月19日(金) 晴
 「手に手つないで」

出席報告

会員 60名中 47名 出席率 78.33%
 ○スピーカー
 株式会社ブルーチップ 代表取締役 馬場 憲之氏

会長挨拶

会長 柳澤 講次君



皆さんこんにちは、今年度もいよいよ後半です。後半は前半に比べクラブ独自の色々な例会が行われる予定です。楽しみにしててください。今月は職業奉仕月間があります。ロータリーのcoreの部分である職業

奉仕、ライオンズクラブとの違いでよく使われる言葉ですが、正直言ってなかなか具体的に掴みづらいところがあります。これはロータリアンそれぞれの中で作り上げるものと私は思っています。

今日は職業奉仕月間にふさわしい、馬場憲之さんをおまねきしました。以前何でもやってみる同好会でおじゃましました。とても景色のいい場所にあり、伊勢湾と夕日がマッチングした絶景は、常滑の名所にもなるようなところ。私も絵にかいてみたいとその後お邪魔しました。そんな場所でワイナリーとレストラン畑などをつくった原点がどんなところにあるのかお聞きして、私共の考える職業奉仕とどんな点が一致して、どんな点が相違しているのかを勉強してみたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

ニコBOX

(馬場さん、卓話よろしくお願いします) 柳澤会長
 (馬場憲之さん、本日の卓話よろしくお願いします)
 藤掛幹事
 (昨日桑名会で優勝です) 早瀬君
 (大変遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくおねがいします) 長瀬君
 (本日は常滑ワインの話です。講師の馬場さんよろしくおねがいします) 橋本(美)さん

本日合計	20,000円
累計	1,223,620円

委員会報告

「ランドセルプロジェクトについて」
 国際奉仕委員長 市野 文俊君



今期も、昨年度大変ご好評頂いた「ランドセルプロジェクト」を行います。

知立団地には多くの外国人が住んでおり、地元NGO団体は長年中古のランドセルを集め、外国人の新一年生へランドセルを寄贈されています。当クラブも国際奉仕の観点から、協力したいと考えます。

是非、一人でも多くの方にお声がけ頂き、一つでも多くのランドセルを寄贈できるようご協力をお願いいたします。

同好会報告 何でもやってみる同好会

- ① 『釣り部門 新年会について』
 - ② 『国府宮はだか祭り参加体験について』
- 三枝樹 明道君



幹事報告 藤掛 誠一郎君

1月12日に行われた理事会の報告です。会歴20年以上の会員でクラブ幹事・藤掛に例会出席免除を申し出ていただいた梅田武久君 岡本善博君 が承認されました。

体調を崩し退会した村田誠一君の具合が良くなり再入会の申し込みがあり承認され2月9日から再入会となります。

敬老例会のアンケート結果で、42%が敬老例会（年齢含む）のこれまで通りという回答があり承認されました。ちなみに、賀寿祝い（32%）、未回答（17%）、その他（10%）がその他の結果です。皆さんご回答ありがとうございました。

能登半島地震について、友好クラブである金沢みなとロータリークラブと連携して、義捐金を渡すことになりました。今後の例会でも会員から集めたり、クラブで予算化するなどを進めますが、義捐金の金額・時期などは金沢みなとロータリークラブとも連絡を取り合いながら今後の継続課題とします。先ほど市野国際奉仕委員長から案内がありました「ランドセルプロジェクト」も昨年に引き続き取り組みます。皆さんのご協力をお願いいたします。

以上です。

卓話

「農業の6次産業化について
常滑ワイナリーができるまで」

○スピーカー
株式会社ブルーチップ代表取締役 馬場 憲之氏



株式会社ブルーチップファーム 代表取締役 馬場憲之

佐世保市生まれ、小さい頃からアメリカの音楽、テレビドラマに触れアメリカへの憧れを抱く

大学卒業旅行で初めてサンフランシスコへ！

卒業後証券会社へ就職、営業職として日々の仕事に追われる。そんな現状に疑問を感じ、アメリカでの転職を試みるも採用ゼロ。

少しでもアメリカの近くにと30歳で旅行業にて起業

順調にいったものの9.11をきっかけに人生の方向転換に目を向ける。その後順調に行っていたものの10年間一緒に働いていた仲間に会社売上770万円を横領され、会社は空中分解

またも一念発起し現在の株式会社ブルーチップを設立

そこで始めたのが小さい頃から憧れていた「アメリカンカルチャー」だった



農業への新規参入

農林水産省より指導を受け、東浦町のイチゴ農家で研修を受け、新規就農者となる。初年度2008年より作付け15aにてイチゴ農園スタート、次年度はインターネットでのプロモーションで集客が伸び予約がオーバー状態に。

別事業にてアメリカ、チロイトでの掃りオレゴン州南オランダに立ち寄った際に、そこで確立された農業の6次スタイル 1次（生産）+2次（加工）+3次（サービス）=6次化を目の当たりにする

特にレストランが併設されたワイナリーでの映画のワンシーンのような幸福感あふれるシーンに感動し、これを地元常滑に作りたいと考える



常滑での農地探し

ワイナリーレストランを常滑に！と農業生産法人を設立
常滑で農地探しを

見つけた農地で施設作りを計画し始めたところ、ここで初めて農地法上、農地にレストラン建設が不可能なことを知る

イチゴ持りの集客はできていたのですがここでも第2農園として「オレゴンファーム」のプロジェクトを進める



飲食業への挑戦



農地にレストランが建てられないことがわかった為、それならば農園近くでレストラン運営ができないものと土地探し

オレゴンファームから車で5分のところに土地を見つけ、アメリカンコンテンツとして「ハンバーガーショップ」を作る

飲食コンテンツを農業が持つことで閑散期にも雇用を維持できるのでやはり農業の6次化は不可欠と感じる

しかしながら飲食経験がない者が新規参入するには農業より厳しく業容に苦しむ

あきらめきれない6次化への想い



テキサスキングバーガーもSNSでの拡散のおかげで集客も順調に行き、農業は農産物が収穫できる時しか収入がないが飲食店は年中稼働も継続できコンテンツとしてもストーリーがある為、農園でのレストラン設立オレゴンを訪向し、現地で6次産業の成り立ち方を学び、またワインをやりたいたい気持ちも強くなる

はじめ、年間来客数60000人にて、よって農園スタッフの雇用あきらめきれない気持ちを持って毎年ついても学び、やはり農業レストラン

雑誌「ワイン王国」にて5つ星受賞



VISAカードのゴールド&プラチナ専門誌「VISA」にて特集

新たな挑戦アーバンワイナリー「名古屋ワイン」醸造

ポートランドにはカントリーサイドのワイナリーとは別に都会にあるアーバンワイナリーがある



次は「名古屋ワイン」を作るべく緑区に農地をかり、西区円頓寺商店街にフレンドビストロ「コモシ」と醸造施設「ワイナル」を併設した新たな挑戦に

国家戦略特区への申請という道

愛知県庁より農場見学をし、話を聞きたいというアポイントがあり想いを伝えたとこ、国家戦略特区として認定されれば農地にレストラン建設が可能とのこと、早速申請するが会えなく落選

以後3年越しにてとうとう愛知県として初の国家戦略特区に認定される

ワイナリー併設も構想にあった為こちらは農林漁業成長産業化推進機構の支援を仰ぎワイナリー建設も現実のものとなる

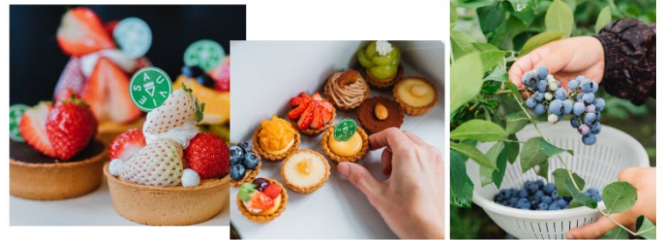
ここで行政、常滑市、名古屋銀行と弊社での国家戦略特区のプロジェクトチームができる



スイーツの6次産業化「フルーツタルトソービー」

ポートランド郊外にある農業地帯「ソービーアイランド」では人々が新鮮なフルーツと豊かな時間を過ごします。「seed to table」農園からカフェまで。

その景色に感動し自社農園のスイーツショップの店舗展開を目指します。



ワイナリーレストラン「サンセットウォーカーヒル」



シンガポール初の「シンガポールワイナリー」設立へ

世界4位の金融市場を持つシンガポールはまだワイナリーが一つもない。そこに初のワイナリー設立



常滑ワイナリー「ネイバーフッド」



本出版「RAIL 人生は2本のレールが訪れる」

人生の転換点を設定することはそんなに難しいことはない。意思決定や人生の選択に悩める人へ送る一冊として



E グループ家庭集会報告

とき 令和6年1月19日 18:30~
 ところ れんが家
 名古屋市中区錦 3-22-7 アークビル3F
 出席者 リーダー 市野
 サブリーダー 大平(報告者)
 加藤(茂)、山内、山田(章)、藤原、
 久留宮、長谷川、林、小山
 10名(敬称略)

入会29年目となる加藤茂春君の乾杯の挨拶では、「長い間RCに所属してきたのは様々な楽しい素晴らしい出会いや出来事があったからです。自分も入会して2~3年のうちは、やめたいと思う時があったけれど、皆さんも希望を持って続けていただきたい」との含蓄あるアドバイスをいただきました。

市野リーダーの「RCに入って第二の人生を謳歌でき、皆さんに感謝しています」との言葉からはクラブ生活を本当に生きがいとして楽しんでいる雰囲気伝わってきて、若い会員にとっても励みになったと思います。

宴の途中では各会員が順次発言していきましたが、皆さん異なる経歴のなか仕事も遊びも社会活動も逞しく両立して活動されていることが再認識でき、一層親交を深めていきたいという想いを新たにしました。



名古屋中央ローターアクトクラブ例会出席報告

とき 1月20日(土) 12:00~
 ところ 名古屋市科学館
 みなとRC出席者 寺本 善雄君



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 286
 2024年1月15日発行

2024年1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、石川県、富山県や新潟県に大きな被害が出ています。米山記念奨学会一同、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。現在、第2810地区(石川・富山)および2560地区(新潟)の現役奨学生は無事と確認されています。ロータリー会員の皆さまにおかれましては、もし被災地域に在住している学友がいましたら、連絡をお取りいただけますと本人たちも安心できるかと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

1. ベトナムの子どもたちを笑顔に

第2620地区米山学友会では、国際奉仕活動の一環として教育支援に力を入れており、これまでにスリランカやモンゴルへ継続的な支援を行っています。そして今回、青山チャリティ会長(2006-08/静岡日本平RC)の発案で「ベトナム教育支援プロジェクト」が始動。ベトナム出身で同学友会理事のレー チュオン ロクさん(2020-22/甲府南RC)、監事のフナム ゴックアンさん(2020-22/浜松南RC)や、ベトナム南米山学友会の会員らと連携し、ベトナムの恵まれない子どもたちへの教育支援を実施しました。



保険証を授与する青山チャリティ会長

12月9日、現地入りした青山会長をはじめとする同学友会の5人は、ベトナム南学友会理事のリー パオ タクさん(2015-16/高崎北RC)の紹介で、グエン ビン キエム中学校を訪問。貧困家庭で育つ37人の生徒へ毛布を寄贈しました。ベトナムは暖かい国という印象がありますが、冬は日本の晩秋のような気候になるため、防寒設備が不足している人々にとって毛布は欠かせないそうです。それに加え、経済的理由で医療サービスを受けるために必要な健康保険

に加入ができない同校付属小学校低学年の生徒20人に対しては、1年分の健康保険証の取得を支援しました。

翌10日には、家庭や経済的理由で身寄りのない23人の子どもたちが生活しているダナン路上子ども保護センターを訪問。センター内のセキュリティドア、室内洗濯物干し、台風で壊れた看板などの修理や、プリンター、扇風機、生活用品や子供服などの寄贈を行いました。支援物資を買った子供たちは、とても喜んでいました。



保護センターの子どもたちと

活動を終えた青山会長は、「子供たちの笑顔を見て、こちらも幸せな気持ちになりました。保護施設は海外からの支援を基に運営している中、近年は支援が激減しているという話をセンター長から伺い、継続支援の必要性を実感しました。今回のプロジェクトのために力を貸してくれた多くの学友や、募金していただいたロータリー会員の皆さまに改めて感謝申し上げます」と、締めくくりました。

2. 英語版リーフレット 改訂版が完成

米山奨学事業を紹介する三つ折り英語版リーフレットの改訂版が完成しました。当会では、豆辞典などの米山奨学事業に関する資料を作成していますが、今回のリーフレットはすべての内容が英語で記載されています。用途に応じて、様々な場面でご利用ください。英語版リーフレットをご希望の方は、当会広報担当まで。



3. 寄付金速報 下期普通寄付のお願い

12月までの寄付金は前年同期と比べて3.8%増(普通寄付金:0.8%減、特別寄付金:5.3%増)、約3,400万円の増加となりました。中でも、特別寄付金

は毎月寄付額、累計寄付額ともに、2009年度以降で最高額となりました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。1月中旬には「2023年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からご寄付のお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 米山学友が世話クラブの会員に仲間入り!

米山奨学生がロータリー会員になることは大きな喜びですが、かつて世話をした奨学生が自クラブのメンバーとして仲間入りすることは、この上ない喜びのひとつ。これまでに292人の米山学友がロータリー会員となり、うち少なくとも8人が世話クラブの会員となっています(事務局把握分)。パブロ プーガさん(2006-08/東京広尾RC)のように、今年度クラブ会長を務める人も複数います。



そんな中、カウンセラーと交わした「いつか教授になったら入会します」との約束を果たし、2022年から世話クラブ会員となった鄭純華さん(2002-04/西原須野RC)からのメッセージを紹介します。

<鄭純華さんより>
 宇都宮大学工学部教授に昇進してすぐにカウンセラーの関谷直人先生に報告し、翌月には入会手続きをしました。自分が学生時代に支援を受けて研究に専念できたので、今度は留学生を支援する立場に立ちたいと考えています。西原須野RCは自宅や勤務先からは少し離れていますが、奨学生時代から温かく見守っていただけており、また最近、会員数が減少傾向であることも聞き、少しでも貢献できればと思い入会しました。

◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南米山学友会の

創立記念式典が開催されます

2024年3月10日(日) 17:00~21:00

THANH THUY レストランにて開催(ホーチン市内)

問合せ先:

申込期限: 1/31(水) ※締切間近!!

詳細はQRコードから



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
 URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
 編集担当: 長尾(なご)

月	日	今後の例会予定
1	26	卓話 本證寺 住職 小山 興圓氏 16F「アイリス」
2	2	休会
	9	港友例会 新入会員自己紹介 小椋 由美子さん 17F「コスモス」
	16	卓話 元プロキャディー 杉澤 伸章氏 17F「コスモス」
	23	例会変更 西名古屋分区 IM 2/14(水)
3	1	港友例会 新入会員自己紹介 大野 正博君 17F「コスモス」
	8	卓話 名古屋中央 RAC 代表 17F「コスモス」
	15	休会
	22	卓話 元 JAL 機長 (神奈川工科大学教授) 丸山 佳男氏 17F「コスモス」
	29	卓話 (株) FM BIRD 代表取締役 長倉シュタッフ牧子氏 17F「コスモス」